

分担金・拠出金の名称	国際機関評価ネットワーク(MOPAN) 拠出金		評価	C
拠出先の国際機関名	MOPAN (Multilateral Organization Performance Assessment Network)			
国際機関の概要	国際機関に対する主要な拠出国が、共通の関心を有する国際機関の運営・管理の効率性について、合同でアセスメントを行い、各国国際機関との対話による運営・管理体制の改善に資することを目的として結成したネットワーク(平成27年8月現在19か国参加)。OECD事務局に小規模な事務局を設置。MOPAN参加国がアセスメント対象となる国際機関を選定の上、国際機関の運営・管理について、MOPAN参加国の監督の下で、コンサルタントによる調査作業(文献調査、インタビューなど)を実施し、結果を公表。我が国は、平成26年(2014年)後半から参加。			
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標			達成状況	
1. (1) 成果目標： 国際機関を通じた援助の効率性の向上にむけたドナー間協調。 活動指標： MOPANの活動(アセスメント)を通じ、国際機関の運営・管理体制の改善に向けた対話のための有用な材料を得る。			国際機関を通じた援助の効率化の一環として、MOPAN参加国は、合同でアセスメントを行うことで情報収集を図っている。アセスメントの方法論もこの1～2年のMOPAN参加国による議論をへて、改善されている。各ドナー国が単独で、各国国際機関の運営・管理体制を多様な側面から測ることはコスト面でも困難で、協調活動として可能となった面がある。(我が国はMOPANに昨年後半から参加したため、今年と来年の2年間の第一サイクルが、MOPANのアセスメント・サイクルへの我が国としての最初の参加となる。)	
(2) 成果目標： MOPANの意思決定における我が国のプレゼンス。 活動指標： MOPANの我が国にとっての有用性を高める決定への建設的参加。			我が国は、昨年後半のMOPAN参加以降、MOPAN参加国として、アセスメント対象国際機関の決定、アセスメント手法の改善、及びOECD事務局とのMOU(MOPAN事務局ホストに関するもの)更新など、MOPANの運営上の意思決定に積極的に参加。2015年からのアセスメント対象国際機関の拡大を支持し実現した。	
(3) 成果目標： MOPANの成果物をアセスメント対象の国際機関との対話により有用なものとする。 活動指標： MOPANアセスメント対象の各国国際機関担当課室が、アセスメント結果を利用して、各国国際機関との対話に活かす事例を増やす。			平成26年度、我が国は、MOPAN運営委員会などの機会に、アセスメントの結果として提示される国際機関の運営機能強化に関する提言が、各国国際機関の実態により合致し、ひいては改善が促されるよう提言の質の向上を提言。今後、我が国にとって利用価値の高いアセスメント結果が得られるよう、必要に応じて個別のアセスメント毎に提言していく。	
(4) 成果目標： MOPAN事務局における邦人職員の採用、ないしは、アセスメント作業への邦人専門家の参加。 活動指標： アセスメント対象機関のうち、我が国の関心の高いものについては、本部ないし裨益国における調査／対話への我が国代表ないし邦人専門家の参加を確保する。			昨年度後半に参加したばかりで、実績はなし。現在、MOPAN事務局職員は5名。	
2. PDCAサイクルの確保			①計画段階(Plan): MOPANの活動(アセスメント)について、運営委員会において、毎年の作業計画の検討、承認。 ②実施段階(Do): MOPANアセスメントのモニタリング。 ③評価段階(Check): MOPAN年次報告書による検証。 ④フォローアップ(Act): MOPANアセスメントについて、MOPAN運営委員会等の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。	
担当課・室名	ODA評価室			